

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「健康」 Ⅲ-6-2-2 ①		教員氏名 中山 恭一
学年	1年		開講学期 後期
授業形態	演習		単位数 1単位
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験
テーマ	幼稚園教育要領・保育所保育指針等に示された領域「健康」のねらい及び内容に基づいた、乳幼児期に育みたい資		
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○ ○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	○保育内容「健康」の学びを基に、育みたい資質・能力（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）の内容を踏まえた、現場に即した実践力を習得する。 ○育みたい資質・能力（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）の理解に基づき、疑似体験・企画運営・グループワーク・ICT等のアクティブラーニングでの活動を通して、主体的・対話的に学びを深める。 ○WHO及び子どもの権利条約に基づく、領域「健康」からの支援を学ぶ。 ○アクティブラーニングとして、対面授業と並行して実施する学生各自で作成した運動プログラムの実践から、栄養（食育も含む）・運動（身体活動及び遊び等）・休養（睡眠等）との関連性を学ぶ。またこれらの実践から、子ども達及び保護者への支援等を学ぶ。		
授業の 到達目標	1. 要領・指針等に示された領域「健康」のねらい及び内容に基づき、乳幼児期に育みたい資質・能力に沿った具体的指導法の実践を、多様な体験から学びを深めることができる。 2. 領域「健康」の内容を基に、子ども達の権利と個性を尊重する支援に配慮できる。 3. 心身の健康に関する様々な課題に対して、自ら必要な情報を収集及び分析をし、主体的・対話的な実践から、解決策・対応策を見出す姿勢を実施することができる。		
テキスト	保育内容 健康 あなたならどうしますか？ 萌文書林 2020 酒井幸子・松山洋平編		
参考書	・厚生労働省「保育所保育指針」・文部科学省「幼稚園教育要領」・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」・文部科学省「幼児期運動指針」		
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする		○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する		
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める		○
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する		○
その他: 特記事項なし			
成績評価方法	区分	割合(%)	内容
	定期試験・ 筆記試験	0	実施しない
	授業内課題 ・発表等	50	課題への積極的取り組み
	参加度・ 学習態度等	50	授業への積極的参加
その他		特記事項なし	
再試験	行う	行なわない 場合の 理由	

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	◎オリエンテーション ◎現代的課題を踏まえた、健康・安全・食に関する資質・能力の育成①【テーマ:健康・安全】プレーパークの概要の理解	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第2回	テーマ 内容	◎プレーパークでの遊び体験（フィールドワーク、グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第3回	テーマ 内容	◎プレーパークに関するPR活動及びイベント企画（ディスカッション、ICT）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第4回	テーマ 内容	◎現代的課題を踏まえた、健康・安全・食に関する資質・能力の育成②【テーマ:食】こども食堂の概要を理解する（ディスカッション、グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第5回	テーマ 内容	◎こども食堂に関するPR活動及びイベント企画（ディスカッション、ICT）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第6回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援①:特別な配慮を必要とする子ども達（グループワーク、ディスカッション）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第7回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援②:多様性理解（ディスカッション、グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第8回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援③:共生社会（ディスカッション、グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第9回	テーマ 内容	◎領域「健康」を基にした、多様な視点からの育みたい資質・能力の育成支援④:包括的性教育（ディスカッション、グループワーク）	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分

第10回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”①: 概要理解及び実施体験 (ディスカッション, グループワーク)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第11回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”②: 課題設定及び情報収集 (ディスカッション, グループワーク, ICT) (ディ	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第12回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”③: プログラムのブラッシュアップ (プレゼンテーション, ディスカッション, グループワーク, ICT)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分
第13回	テーマ 内容	◎“ゆるスポーツ系創作運動あそび”④: 全体発表 (プレゼンテーション)	
	授業外学習	①教科書と配布資料の振り返り ②関連する情報の収集 ③ICT教材の日常的な活用	55分

課題に対するフィードバックの方法

◎学生から寄せられた質問や感想等は、必要に応じて授業中に全学生に対しその内容を伝え解説を加える等の対応を行っている。
◎授業内課題およびレポート等は、翌週以降にコメントを付けて返却する。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容の総合的指導法「健康」 Ⅲ-6-2-2①		教員氏名	井狩 芳子
学年	1年		開講学期	後期
授業形態	演習		単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	
テーマ	領域「保育内容『健康』」について、子どもや保護者への定着を図るための方途を模索し習得する			
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○ ○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
○				
○				
授業の概要	1.「保育内容『健康』」の学びを踏まえ、①構想と実践方法の理解 ②教材研究体験を経て ③幼児期終盤にその獲得が期待される”10の姿”を念頭にした実践力の習得を目指す 2. 実践力を習得しようとする際、子どもの支援の一環として、「①あそび活用 ②気づきの掘り起こしと知識の伝え合い ③日々の生活の場面活用」を主眼に、保護者支援の視点も養う 3. ICT教育の3つの視点を踏まえ①資料収集 ②授業内活用 ③子ども/園/保護者の活用 の概要を習得し、その情報を基にしなが現場で活用できる保育教材の提案や指導法の立案などを、個人または共同・協働で学習する 4. さらに、様々な要件を持つ子どもや保護者への対応も念頭に、学生の体験・ICT教育・グループワークの機会をとおして学びを深め、保育内容「健康」の視点を踏まえた「保育の計画の立案・実践・評価・改善」を視野に入れた保育力の習得を目指す			
授業の 到達目標	1. 意義・ねらい・内容の概要把握と、養成校学生として自身の健康管理を実践できる 2. 健康課題の把握と保育者の役割についての認識を踏まえ、その対応をしようとする 3. 基本的な生活習慣の習得や健康・安全な生活を営む力を養うための具体的な指導法を学び、実践できる。その際、子どもの年齢/個別対応、保護者支援/地域支援への必要性に気づき、積極的に関わろうとする力を習得する 4. 「3」を保障する為に、保護者と保育者・地域の各機関との協働が必要なことに気づき、その視点を述べられる 5. 自身の健康課題を省察し、自律した社会人として行動できる			
テキスト	「演習 保育内容」萌文書林 2025 井狩芳子著			
参考書	①厚生労働省「保育所保育指針 ②文部科学省「幼稚園教育要領」 ③内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ④文部科学省「幼児期運動指針」 ⑤農林水産省「食育基本法」* その他、関連科目の教科書			
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			○
その他:	クラス全員のワークを一同に観察しその多様さに気づき、双方向の評価を実施する。同時に自己省察を実施する			○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験・筆記試験	0		
	授業内課題・発表等	50	前期に実施したような「(いわゆる)試験」は実施しない予定である。毎回の授業では、テーマに即した課題提出を求める。特に、半期間中に試験相当の課題を設け、この課題の未提出者に対しては追再試験を課す	
	参加度・学習態度等	50	基本的に授業に出席し、都度の学びを深めたくうえで課題に取り組む。課題は、学びの姿勢によって成り立つ内容であるため学習態度は重要な視点である	
その他		①止む負えない事情で欠席した場合、翌週以降に課題を受け取れる。さらに、自学により課題に取り組む提出することを奨励し、十分な学びが確認されれば課題点の対象とする ②アリーナで運動あそび体験を実施する際は、運動あそびに適した服装/靴(安全面に考慮した)で参加する。未着用の場合は参加者全員の危険となるため見学とし、減点の対象とする。		
再試験	行う	行なわない場合の理由	対象は指定した課題が未提出な者	

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・戸外あそびの把握…①”冒険あそび”の概要を知り、プレーリーダーについての認識を深める(NPO法人KIDSとの連携) ②ワーク:自身の子ども期の遊び体験振り返り 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>①シラバス通読 ②教科書第6章p77～79通読 <復習>冒険遊びの理解、自身の子ども期のあそびの振り返り 	55分
第2回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外あそび見つけと危険箇所の予知(指定教室に集合▶淵野辺公園(近隣地域連携行事)) ①戸外散歩体験をとおした戸外活動の視点の概要把握 ②ワーク:記録(メモ)の工夫 *雨天の際は別メニューを検討、近年の温暖化により実施時期の調整をする可能性がある 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>①教科書第15章通読 ②当日の活動に適した服装・靴の準備 <復習>次週授業であるマップ作成に向けて、その構想と持参する文房具品等の準備をする 	55分
第3回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お散歩マップの作成(PC活用を奨励) ①ワーク:体験内容のメモを生かしたマップ作成 ②安全管理と安全教育 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>マップ作成に向けて、構想を練り必要に応じて文具を持参する <復習>近隣の冒険遊びや諸活動に参加し、その気づきを生かす力を身に付けようとする 	55分
第4回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お散歩マップ相互鑑賞 ①体験内容の記録と省察 ②ワーク:相互鑑賞による相互評価(視点の多様性に気付く) 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>教科書第13章p162～176 <復習>他者のマップ鑑賞の学びを活かし、「マップ修正版、PC活用版、手書き活用版」等の発展的学習を試みる 	55分
第5回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・協応動作を支える運動機能の概要把握(ヒトの動きを支える36の基本の動作) ワーク:①36の動作の認識 ②36の動作を保障するあそびとは 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>①教科書第8章通読 ②幼児期運動指針の概要把握 <復習>ワークで取り組んだ”あそび”について、実際の園庭をイメージし図に記す 	55分
第6回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の運動あそびの概要把握と援助の視点…視聴覚教材活用 ワーク:園で活用したいベビーサイン作成 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>①教科書第14章通読 ②乳児期の運動発達の概要予習 <復習>可能な範囲で、自身の乳児期に使ったベビーサインや発語、発達概要に興味関心をもつ 	55分
第7回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の協応動作獲得を促す運動あそび紹介と体験/援助法の具体(その1:室内遊び) 於:教室 ワーク①演習にかかる体験記録 ②折り紙 ③運動あそびの用品作り 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>当日の活動に適した服装の事前準備と、実施場所の確認をする <復習>活動内容の記録と復習。活動を通した気づきについて、現場実習の際の援助(言葉かけ等)に役立つように視点をまとめておく 	55分
第8回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の協応動作獲得を促す室内運動あそび紹介と体験/援助法の具体(その2:新聞紙活用) 於:体育館 ワーク①演習内容の記録と指導法の作成 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>当日の活動に適した服装・靴の事前準備をし実施場所の確認をする *準備不足の場合は、安全上の視点から授業は見学とする <復習>活動内容の記録/援助法と内容の復習 	55分
第9回	テーマ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の協応動作獲得を促す運動あそび紹介と体験/援助法の具体(その3:用具不要) 於:体育館 ワーク①演習内容と記録と指導法の作成 	
	授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <予習>当日の活動に適した服装・靴の事前準備をし実施場所の確認をする *準備不足の場合は、安全上の視点から授業は見学とする <復習>活動内容の記録/援助法と内容の復習 	55分

第10回	テーマ 内容	①立体視力測定と記録…視力を伸ばす保育内容の検討(ワーク) ②運動遊び体験の各ワークの仕上げと提出	
	授業外学習	<予習>第8・9回授業のワーク未完部分について、完了に向けた事前準備(下調等の準備) <復習>①乳幼児期の視力保障に向けた実践の具体についてイメージできるよう準備する ②自身の日常生活全般を振り返り ③少しずつ、保育者の使命を醸成しようとする	55分
第11回	テーマ 内容	・食育:食品(主に野菜類、穀類、加工食品等)に係る地産地消を知る…園で実施する食育活動を想定し、JA相模原ベジタペーナ見学予定 ワーク:見学内容の記録と特徴の把握 *実施日は、受け入れ側との調整を要するので日程変更あり *地域連携事業	
	授業外学習	<予習>当日の活動(見学)に適した持ち物や服装の準備 <復習>自身の食生活の恒常的振り返り、食に関して実習中に課題がある者は、事前に学内機関へ相談実施等	55分
第12回	テーマ 内容	・幼児期食育に関する、SDGsを踏まえた年間食育プログラムの作成(主旨説明等) ●未提出者は再試験の対象とする	
	授業外学習	<予習>教科書13・15章に記された園の年間計画のイメージを把握しておく <復習>実習園の食育について、HPなどで内容把握をしてイメージを持って参加する	55分
第13回	テーマ 内容	・子どもの健康課題/保育内容健康領域におけるSDGsの視点 ・年間食育プログラムの提出	
	授業外学習	<予習>①身近が実施しているSDGsを認識する <復習>多くの園で実施しているSDGs活動の視点(特に健康領域視点)の概要把握をする	55分

課題に対するフィードバックの方法

各授業で実施したワークは、基本的に授業時間中に取り組み提出をする。翌週以降に返却し、振り返りを実施し、記憶の定着を促す